

健康 ぷらざ

透析療法

— 腎臓の働きを補う治療法 —

指導：防衛医科大学校腎臓内分泌内科 教授 熊谷 裕生

企画：
日本医師会

No. 528

主な透析療法は2つ

悪くなった腎臓の働きの一部を人工的に補うのが透析療法です。大きく分けて血液透析と腹膜透析の2種類があります。

血液透析

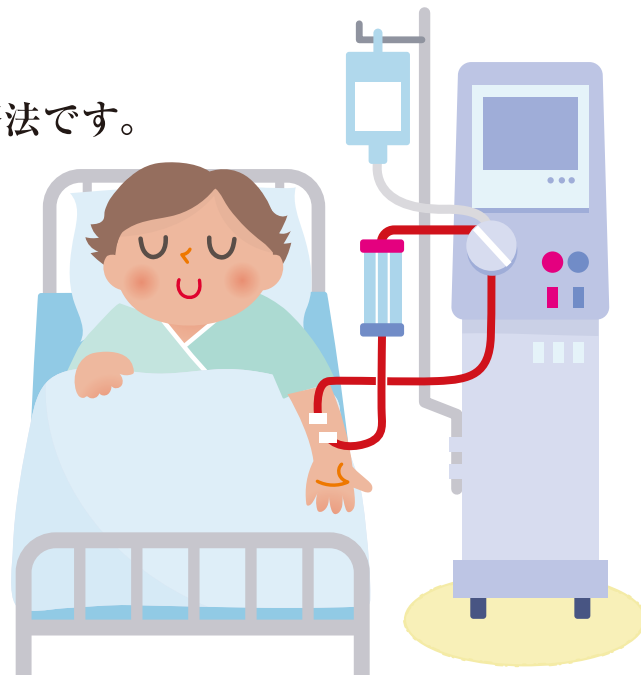
利き腕と反対側の腕の静脈に、針を刺すための太い血管を作ります。1週間に3回透析クリニックへ通って、4~5時間透析を受けます。毎回針を刺すので痛みを伴いますが、痛みを抑えるクリームや貼り薬があります。仕事のある方には夕方から行うコースもあります。

透析をして、血液から水や老廃物を取り除くと、息苦しさ、だるさが消えて、食事がおいしくなります。合併症を抑えることができれば、30年以上治療を受けながら生活することができます。

腹膜透析

透析クリニックへ通う必要がなく、自宅でできます。おなかに管を埋め込んでおき、2リットルの透析液を入れて6時間貯めておきます。時間が来たら透析液を自分で捨て、新しい透析液に入れ替えます。それを1日に3回か4回繰り返します。夜中に器械で自動的に透析してもらう方法もあります。通院はひと月に1回か2回です。おなかに細菌が入る腹膜炎という合併症に注意が必要です。

以前は8年くらいでほかの治療法に替えなければなりませんでした。透析液が改良され、もっと長く続けられるようになりました。



血液透析の様子



腹膜透析の様子

新しい人生のスタートです、でも…

血液透析も腹膜透析も新しい人生のスタートです。でも、糖尿病や高血圧のある方は、腎臓の働きが悪くなる前にかかりつけ医に相談し、透析が必要にならないよう早く治療を受けましょう。

